

アライドテレシス レイヤー2スイッチ 選定ガイド

～L2スイッチかんたん構築ガイド①～

第10版



目次

1. L2エッジスイッチの選定ポイント	P.	3
ポイント1. 何を接続するのかを確認する！	P.	4
ポイント2. 接続する機器が何台あるのか確認する！	P.	5
1. 普通のスイッチを選ぶ	P.	5
2. PoE対応スイッチを選ぶ	P.	6
ポイント3. スwitchの性能を確認する！	P.	7
1. 通信速度を決める	P.	7
2. スイッチングファブリックを確認する	P.	7
ポイント4. 必要機能を確認する！	P.	8
1. 冷却ファンの有無	P.	8
2. 壁面やラックへの設置	P.	8
3. ループガード機能	P.	9
4. 「外部電源タイプ」と「電源内蔵タイプ」	P.	9
5. VLAN(Virtual LAN)	P.	10
6. インテリジェントスイッチ(SNMP)	P.	10
その他の機能！(選定表で紹介している機能)	P.	11
1. ForceMDI	P.	11
2. SFPスロット	P.	11
3. 802.1X	P.	11
4. QoS(Quality of Service)	P.	11
5. ミラーリング	P.	11
6. トランキング	P.	11
7. ポート固定設定	P.	11
8. EAP透過	P.	11
2. L2エッジスイッチ選定フロー	P.	12
3. PoE対応スイッチ選定フロー	P.	14

1. L2エッジスイッチの選定ポイント



なんでも良いと言われたけれど、種類が多くてどれにしたらいいのか分からない。
いったい何が違うのか。。

誠に申し訳ございません。
お客様の様々な要望にお応えしたくて
ラインナップをたくさん用意してしまいました。



スイッチ製品をご選定して戴く皆様へ、L2エッジスイッチ(お客様の環境で末端に使用されるスイッチ)の選定ポイントをまとめました。ご活用いただけますと幸いです。

ポイント1. 何を接続するのかを確認する！

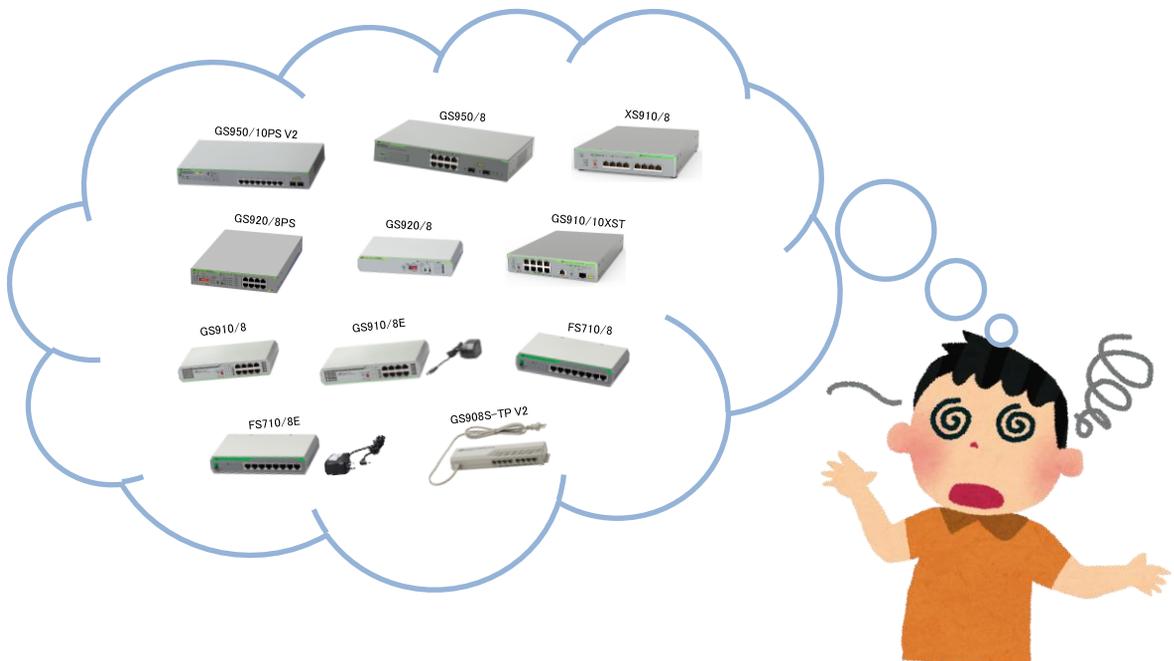
ポイント2. 接続する機器が何台あるのか確認する！

ポイント3. スイッチ性能を確認する！

ポイント4. 必要機能を確認する！

特殊な機能を使わないのなら、選定ポイントはポイント1. 2. 3.の**たったの3項目**です！

でも、特殊な機能はお客様にとって、とても有効な機能になる事もあります。本選定ガイドでは、よく使われる機能とその説明も紹介しています。もちろん、価格も選定ポイントの1つということも忘れてはおりません、価格を含めた一覧もご用意しています。



ポイント1. 何を接続するのかを確認する！

最近、ネットワークにつながる機器が多様化しています。パソコンやプリンターだけではなく、無線アクセスポイントやネットワークカメラも良く接続されます。また、IoTデバイスなるものが現れて、温度センサーや人感センサーという機器までネットワークにつながったりします。

スイッチ選びには、まず、何がつながるのか確認を行います。

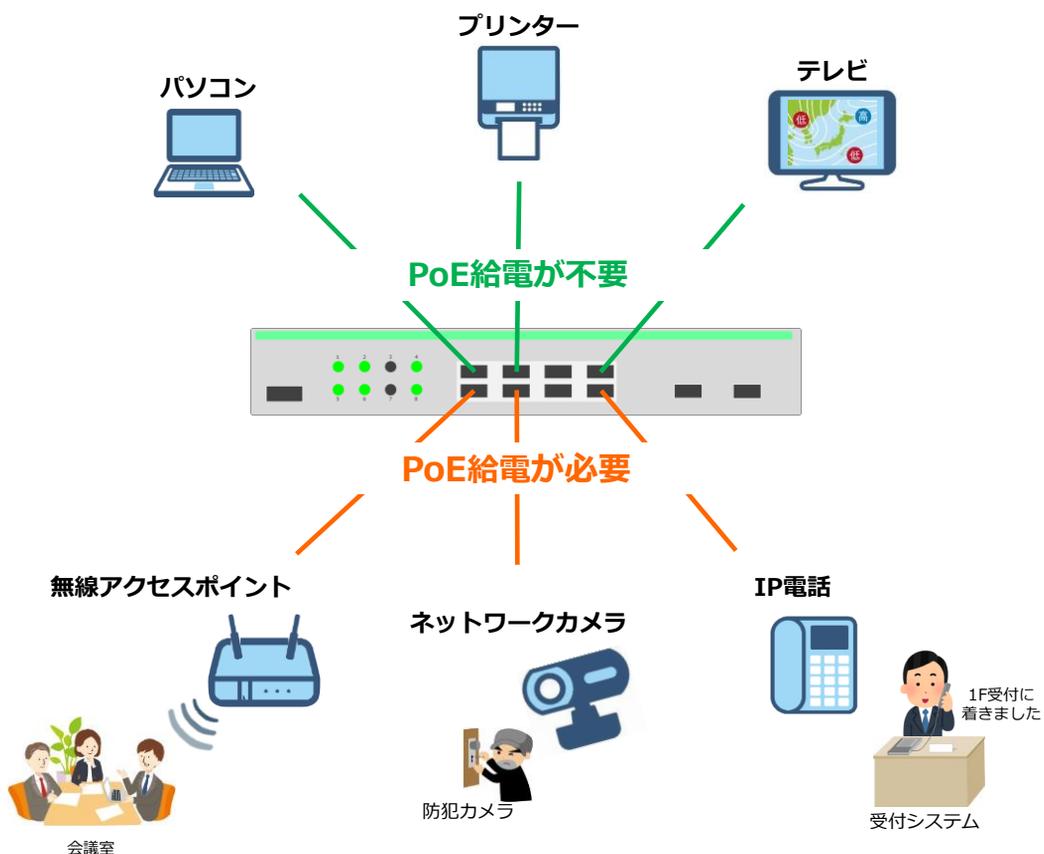
確認のポイントは1つだけ、PoE給電が必要か否かです。

PoE給電が必要な機器

- 「無線アクセスポイント」
- 「ネットワークカメラ」
- 「IP電話」
- 「IoTデバイス(PoE受電が必要な機器の場合)」

PoE給電が必要な機器がない場合 ⇒ 普通のスイッチを選ぶ (P. 5)

PoE給電が必要な機器がある場合 ⇒ PoE対応スイッチを選ぶ (P. 6)



ポイント2. 接続する機器が何台あるのか確認する！

ネットワークにつながる機器に無線LAN対応の製品が多数出てきています。パソコンやプリンターの台数分のケーブルが必要ない場合も多い、でも、無線でつながれるのに、ケーブルもつなぎたいという方もいます。

スイッチ選びでは、つながる機器が何台あるかを、常時つながる機器の台数だけではなく、一時的に接続される機器も含めて、最大のポート数がどれだけ必要か確認を行います。

よくありがちなのが、端末台数だけでポート数を選んで、インターネットに繋げるためのルーターを接続するポートやカスケード接続のポートを数え忘れてしまうこと。。

念のためポート数は余裕をもって選定しましょう！

1. 普通のスイッチを選ぶ

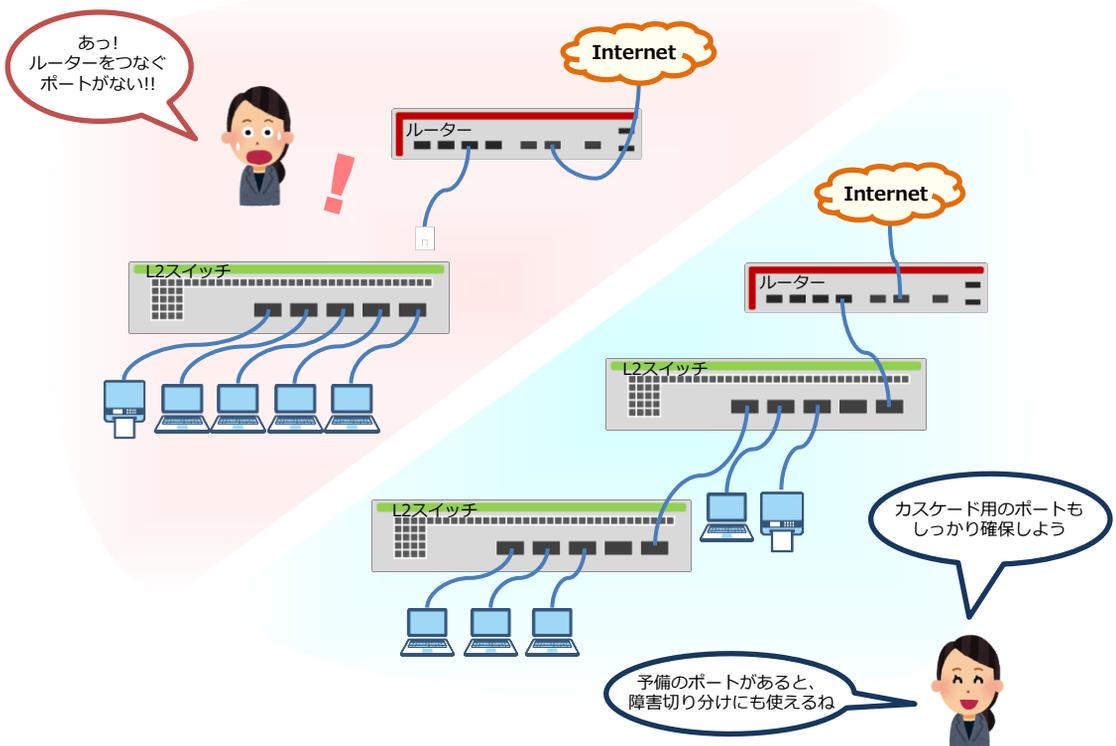
最大接続数(端末等の台数)

- 「1～3台まで」 ⇒ 5ポートスイッチを選ぶ
- 「1～6台まで」 ⇒ 8ポートスイッチを選ぶ
- 「7～14台まで」 ⇒ 16ポートスイッチを選ぶ
- 「15～22台まで」 ⇒ 24ポートスイッチを選ぶ
- 「23～46台まで」 ⇒ 48ポートスイッチを選ぶ
- 「状況によって」 ⇒ 1台で全てをつなぐ必要がある？2台、3台に分けてつないでも良いのでは。

5ポートのスイッチは…
離れた場所にPC2台だけ、デジタルサイネージ用、保守メンテナンスなど、特殊な利用の時に選択します。
事務室での利用は8ポートスイッチを選びます。

※カスケード接続に必要なポート数の数え漏れに注意！

PoE給電が必要な場合、ポート数だけでなく給電能力によって選ぶ必要もあります。
次ページのPoE対応スイッチの場合を参照してください。



2. PoE対応スイッチを選ぶ

①受電が必要な機器の最大消費電力を確認する。

「最大消費電力15.4W以下」「受電クラス3」「IEEE802.3af」の記載がある機器だけにPoE給電する場合は、

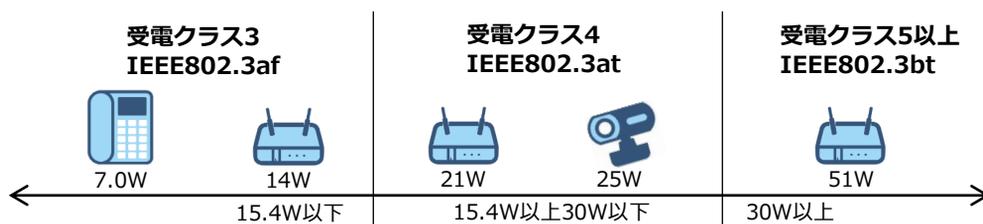
1ポートあたり最大15.4W給電出来るPoEスイッチを選択します。

「最大消費電力15.4W以上 30W以下」「受電クラス4」「IEEE802.3at (PoE+)」の記載がある機器にPoE給電する場合は、(1台でも含まれる場合、将来的な拡張がある場合も含む)

1ポートあたり最大30W給電出来るPoE+スイッチを選択します。

「最大消費電力30W以上」「受電クラス5以上」「IEEE802.3bt (PoE++)」の記載がある機器にPoE給電する場合は、(1台でも含まれる場合、将来的な拡張がある場合も含む)

1ポートあたりの最大給電可能電力が30Wより大きいPoE++スイッチを選択します。



②接続する受電機器全ての最大消費電力の合計値を確認する。

受電クラス3の機器は1台あたり15.4W、受電クラス4の機器は1台あたり30Wで計算します。

- 「61.6Wまで」 ⇒ AT-GS920/8PS
- 「75Wまで」 ⇒ AT-GS950/10PS V2
- 「124Wまで」 ⇒ AT-SH230-10GP、AT-x230-10GP
- 「150Wまで」 ⇒ AT-FS980M/9PS
- 「185Wまで」 ⇒ AT-GS950/18PS V2、AT-GS950/28PS V2
- 「247Wまで」 ⇒ AT-SH230-18GP、AT-x230-18GP
- 「250Wまで」 ⇒ AT-FS980M/18PS
- 「370Wまで」 ⇒ AT-SH230-28GP、AT-x230-28GP、AT-GS950/52PS V2
- 「375Wまで」 ⇒ AT-FS980M/28PS、AT-FS980M/28DP、AT-FS980M/52PS
- 「740Wまで」 ⇒ AT-GS980M/52PS、AT-x230-52GP
- 「740W以上」または「受電クラス5以上を含む」 ⇒ L3スイッチのラインナップで対応

③受電が必要な機器と不要な機器の総数を確認する。

最大接続数(端末等の台数)

- 「1台のみ」 ⇒ PoEインジェクターを選ぶことができます。
- 「1～6台まで」 ⇒ 8ポートPoE対応スイッチを選ぶ
- 「7～14台まで」 ⇒ 16ポートPoE対応スイッチを選ぶ
- 「15～22台まで」 ⇒ 24ポートPoE対応スイッチを選ぶ
- 「23～46台まで」 ⇒ 48ポートPoE対応スイッチを選ぶ

④上記1～3の順で選定しても該当製品が無い場合

最大給電可能電力(スイッチ装置全体)のワット数が大きい製品から選定します。

※ポート数の多い製品を選択する場合、ポート数の少ない製品を複数台選択するよりも価格が高くなる場合がありますので、ご注意ください。

※PoE給電が必要な機器とPoE給電が不要な機器が混在し利用するポート数が多い場合、PoE給電が可能なスイッチと普通のスイッチを分けて運用することをお勧め致します。

ポイント3. スイッチの性能を確認する！

スイッチ選びでは、通信速度やスイッチングファブリックの値が性能の違いとして、同等製品を比較する数値となります。

1. 通信速度を決める

現在、一般的に出荷されているパソコンのLAN接続ポートは1Gbpsの製品が多く、通信効率を考えると、スイッチも1Gbpsに対応できる製品を選ぶのが一般的です。

一般的には、

- ・使用するパソコンの通信スピードと同じ通信スピードを持つ製品を選ぶ
- ・無線アクセスポイントを接続する場合は、1Gbps(無線通信スピード以上)の通信スピードを持つ製品を選ぶ
ただし、Wi-Fi6対応の無線アクセスポイントを接続する場合は、1Gbpsより速い通信速度(2.5Gbps/5Gbps/10Gbps)を持つスイッチの選定も検討

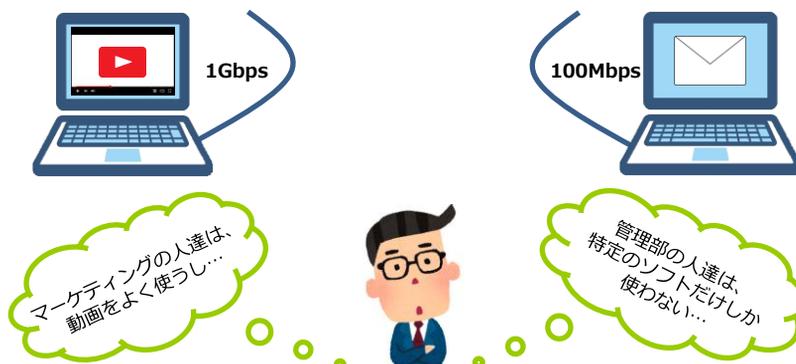
利用状況によって安価な製品を選ぶことも出来ます。

- ・動画や画像、100Mバイト以上の大きなファイルを頻繁に通信する環境・・・1Gbpsを選択
- ・上記以外の通信・・・100Mbpsを選択

※大きなデータを頻繁にやり取りする環境でない限り100Mbpsの通信で十分です。

人のキータッチ速度は早くても40bps程度、ファイルを完成させて送るまでは、通信しない状態なので、テキストデータ入力や数値データ作成が中心の業務では通信速度は遅くても問題ありません。

※無線アクセスポイントを接続する場合も同様に、大きなデータを頻繁にやり取りしない場合は、100Mbpsの通信でも十分です。



2. スイッチングファブリックを確認する

ポート数が同じ、対応速度が同じ場合に性能の違いを見ることが出来るのが、スイッチングファブリック(スイッチ内部で同時に処理できる通信量)の数値です。

比較対象のスイッチングファブリック値が大きいノンブロッキングスイッチを選定する。

※製品を入れ替える場合など、スイッチングファブリック値が小さい製品に入れ替わると通信が遅くなる可能性があります。

※ノンブロッキングスイッチとは、データの転送に遅延が発生しないスイッチの事です。
ノンブロッキングスイッチか、ブロッキングスイッチ(=データの転送に遅延が発生するスイッチ)かは、スイッチングファブリック値で決まります。

(例) 1Gbpsのポートを8ポート持つスイッチの場合は、16Gbps(=1Gbps×8ポート×2)以上のスイッチングファブリック値を持つスイッチがノンブロッキングスイッチとなります。

ポイント4. 必要機能を確認する！

お客様の設置環境を詳細に確認していくと、必要となる条件や有効となる機能が見えてきます。スイッチの全ての機能を把握する必要はありませんが、特に問合せの多い機能に絞って選定のポイントを紹介します。

1. 冷却ファンの有無

冷却ファンがついている製品は、ファンの回転音が発生します。スイッチ製品はデスクトップパソコンのように大きなファンを付けられないため、小型で風量を出すファンを採用します。そのため、デスクトップパソコンのファンよりも大きな音が発生します。

- ・机周りにスイッチを設置する場合には、ファンを搭載していない「ファンレス」の製品を選定します。

※温度環境が過酷な場合は、製品の対応温度を確認し製品を選びます。
※事務室以外やラック収納の場合はファン付の製品でも問題ありません。



2. 壁面やラックへの設置

スイッチは精密機器なので、ラック内の収容をお勧めしますが、壁面やデスクサイドに設置する場合には、壁設置ブラケットやマグネットの利用を提案してください。

※床面への直置きは、踏みつけやケーブルへの引っ掛かりなど、故障や通信断の原因となります。場合によってはケガの元にもなりますので、出来るだけ避けてください。



- ・壁面やパーティションにしっかりと固定する場合は、壁設置ブラケット対応製品を選びます。
※壁設置ブラケットを壁面にねじ止めて設置します。
- ・磁石がくっつく壁面やデスクサイドに設置する場合にはマグネットキットやマグネット付製品を選びます。
※状況によって設置場所を変更する場合などに有効です。
- ・19インチラックに収容する場合には、ラックマウントキット対応製品を選びます。

壁設置ブラケット



マグネットキット



装着例

マグネットシート



装着例

ラックマウントキット

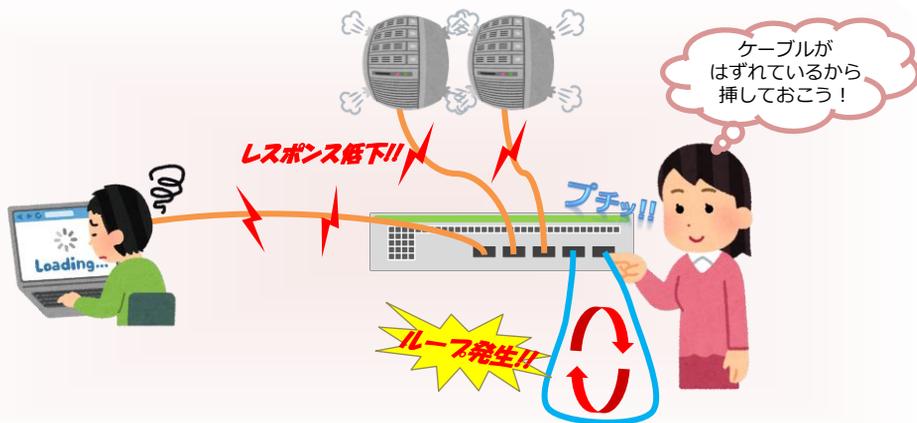


3. ループガード機能

ループ状態のネットワークを構築できる特殊な設定をしていない環境では、ケーブルの接続ミスなどによるネットワークのループ状態が発生すると、通信が不安定になったり、ネットワークがダウンしたりします。ループ状態を判断し、ネットワークのループ状態を防ぐ機能が「ループガード機能」です。予備のポートや予備のケーブルがあると発生しがちです。ネットワークの保守を行う方が経験するトラブルの上位に位置づけられています。

保守メンテの稼働やトラブルを少しでも削減したい場合には是非、ループガード機能対応製品を選びましょう。

※他社製品ではループをお知らせだけの製品があります。お知らせだけではトラブル回避にならないので、アライドテレシスの「ループになっているポートの通信を停止する」ループガード機能付製品を選択してください。

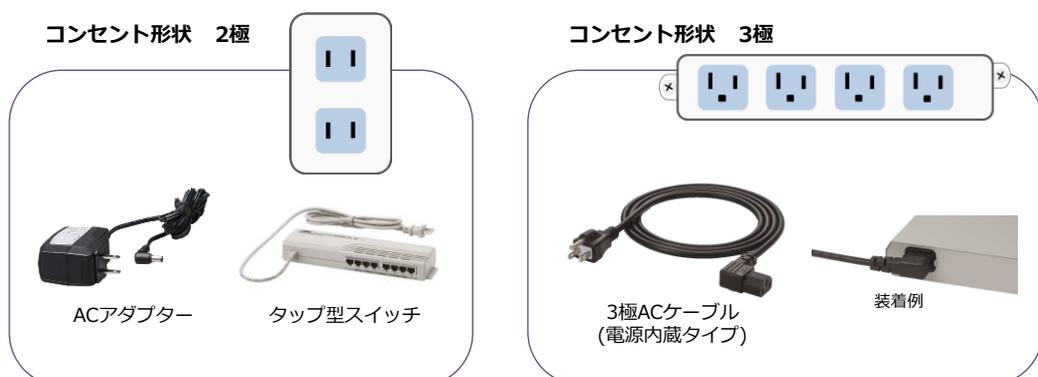


4. 「外部電源タイプ」と「電源内蔵タイプ」

外部電源とは、「ACアダプター」タイプの製品を指します。AC→DC変換部分が筐体の外にあるため外部電源と表現しています。

ACアダプタータイプの製品は電源プラグが2極のため、3極コンセントが無い環境の場合に選択します。

※タップ型スイッチは電源内蔵タイプですが、電源プラグが2極の製品が多いので、タップ型スイッチも選択可能です。



5. VLAN(Virtual LAN)

お客様から「VLAN機能付き」でお願いと言われたら、VLANの種類を確認してください。VLANにも種類があり、出来る内容が異なります。

・ポートベースVLAN

スイッチの配下につながるパソコン等をスイッチのポート毎にグループ分けし、各グループ間で通信させない設定を行う機能です。

・タグVLAN

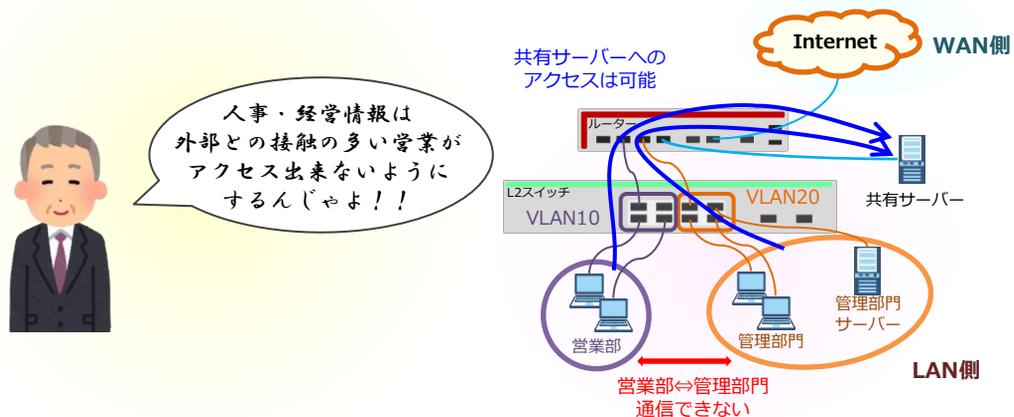
スイッチの配下につながるパソコン等をスイッチのポート毎にグループ分けし、各グループ間で通信させない設定を行う機能です。ポートベースVLANと異なる点は、パケットの中にネットワークの情報等のタグ(荷札)を入れることで、各パケットがどのネットワークに属するかを識別させるため、複数のスイッチ間をまたいだグループ分けが行えます。

・マルチプルVLAN

インターネットマンションやインターネットホテルなどで利用される機能です。各部屋間の通信は遮断して、インターネットのみにアクセスさせるというような要件で利用されます。共有ポートとして設定されたポートへの通信のみ可能なVLANです。

お客様の条件によって対応できるVLANを搭載したスイッチを選択します。

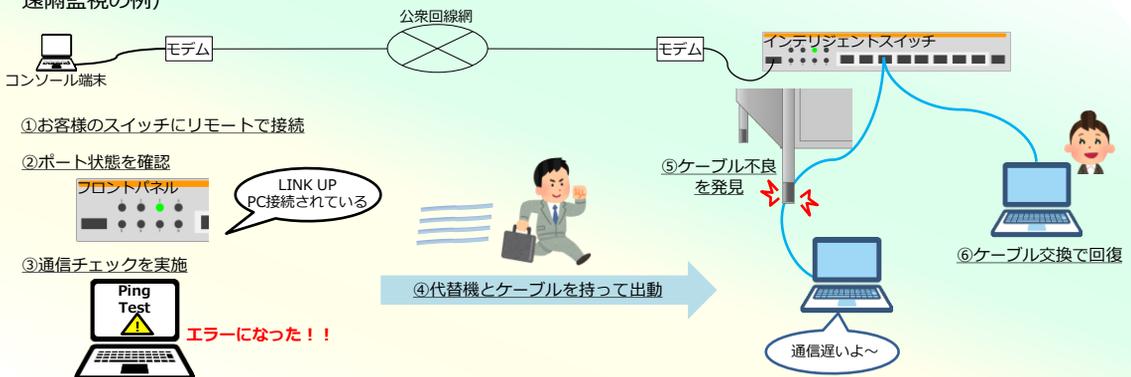
ポートベースVLANの例)



6. インテリジェントスイッチ(SNMP)

スイッチ本体やスイッチのポート状態(パソコンがつながっている/いない)、トラフィック量、エラーパケット数など、様々な情報を監視・管理することができる機能を搭載したスイッチです。遠隔で状態管理したり、ネットワークマネジメントソフトなどで一括管理することができます。お客様から指定がある場合や遠隔で状態を管理することが望ましい場合に、インテリジェントスイッチ(SNMP機能を搭載したスイッチ)を選択します。

遠隔監視の例)



その他の機能！(選定表で紹介している機能)

1. ForceMDI

意味は、「MDI設定を固定する」です。スイッチポートをストレートケーブルで端末に接続する状態(MDI-X)に固定する、もしくは、スイッチポートをストレートケーブルでスイッチとカスケード接続が出来る状態(MDI)に固定設定が出来る機能です。MDI/MDI-X自動認識が出来るようになってから、カスケード接続が簡単に出来るようになりましたが、ループ障害を発生させる原因にもなりました。現在では、ループ発生防止の機能として使われています。

2. SFPスロット

SFP(Small Form Factor Pluggable)モジュールを接続するためのスロットです。スイッチは基本的にUTPケーブルが接続されるRJ-45のポートを持っていますが、それ以外のケーブルを利用したい時に自由に選べるように用意したポートです。光ケーブルを直接スイッチに接続したい時などに、光ケーブルのコネクターに合わせてモジュールを選ぶことができます。

3. 802.1X

正式にはIEEE802.1Xと表現します。クライアント(パソコンなどの端末)がネットワークに接続するための認証を行う規格です。IEEE802.1X認証サーバーを立てて、クライアント(パソコンなどの端末)の認証用ソフトで認証された場合にネットワークに接続できる仕組みが作れます。ここで紹介しているスイッチは、認証サーバーとクライアントの間で仲介役となり、ネットワークへの接続を制御する役目を担うスイッチです。

4. QoS(Quality of Service)

通信の品質を確保する機能です。スイッチを通過するデータにおいて、特定のデータに優先順位をつけて優先的に通信させたり、通信のスピードを保障したりする仕組みです。ここで紹介しているスイッチは、優先順位を付けて通信させる機能を搭載しています。IP電話による音声通話やTV会議システムなど、エラー状態が人の感覚として認識される通信にはQoSを利用します。

5. ミラーリング

特定のポートで通信しているデータを指定したポートに複製して送信する機能です。ネットワークの障害発生時にネットワーク上で流れているデータを解析したい場合などに利用します。

6. トランキング

スイッチとスイッチをカスケード接続する場合に、複数のケーブルを利用してスイッチ間の通信帯域を拡張する機能です。大きなデータ通信が頻繁に行われる環境に有効です。複数のケーブルで接続する構成となるため、回線の二重化(冗長構成)にも利用されます。

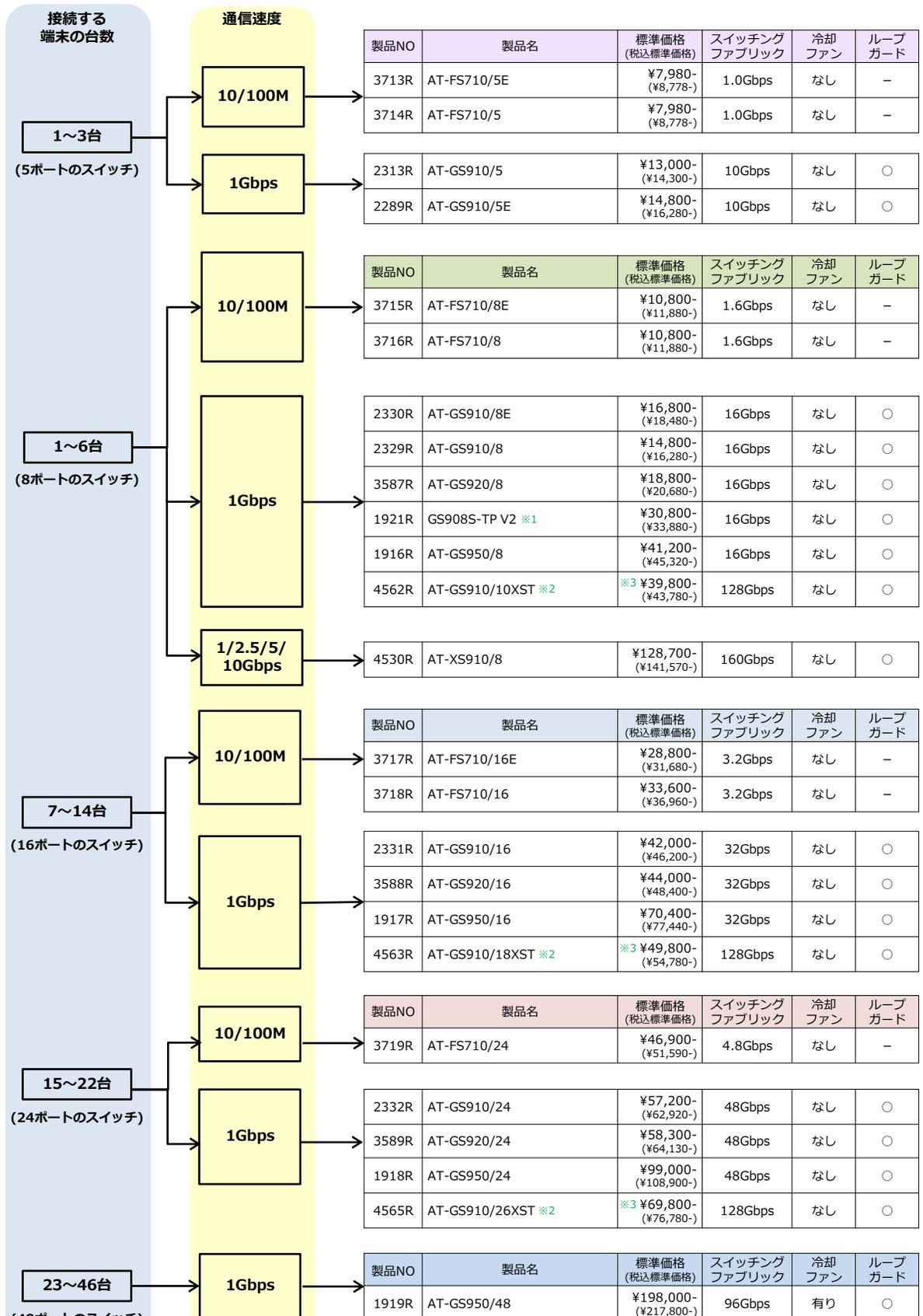
7. ポート固定設定

スイッチのポートを、通信速度(10/100Mbps/1Gbps)と通信方式(Full Duplex/Half Duplex)を固定設定する場合に利用します。カスケード接続するスイッチとのオートネゴシエーションが正しく機能していない場合や、端末の通信設定が固定設定になっている場合に利用します。

8. EAP透過

IEEE802.1X認証で認証サーバーとクライアントの間で仲介役(上記3. 802.1X参照)となるスイッチと端末の間に、仲介役となれないスイッチを接続する場合は、EAP透過機能を有するスイッチを選びます。端末と認証スイッチ間はEAPメッセージという特殊なデータを流しますが、中間に配置されるスイッチにEAP透過機能が無いとデータは破棄されてしまい、認証が行えません。

2. L2エッジスイッチ選定フロー



※1. 受注生産品のため納期はお問合せください。

※2. 端末を接続するベースポートは1Gbps対応です。アップリンク用の1ポートは「1/2.5/5/10Gbps」のマルチギガビットに対応しています。

※3. キャンペーン価格です。本価格は2023年3月31日までに弊社にて注文受付、かつ、受注後30日以内に出荷可能なご注文に適用可能となります。

電源タイプ	VLAN	SNMP	Force MDI	SFP スロット	802.1X	QoS	ミラーリング	トランキング	ポート固定設定	EAP 透過	壁面/ラックへの設置
2極 (ACアダプター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	マグネットキット(※4)、マグネットシート
2極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	マグネットキット(※4)、マグネットシート

3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット、マグネットシート
2極 (ACアダプター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	マグネットキット、マグネットシート

電源タイプ	VLAN	SNMP	Force MDI	SFP スロット	802.1X	QoS	ミラーリング	トランキング	ポート固定設定	EAP 透過	壁面/ラックへの設置
2極 (ACアダプター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット

2極 (ACアダプター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
3極 (電源内蔵)	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
2極タップ型 (電源内蔵)	○ ※5	-	○	-	-	-	○	-	○	○	壁設置ブラケット、マグネット(※4)
3極 (電源内蔵)	○ ※5	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット、マグネットシート 19インチラックマウントキット(※4)
3極 (電源内蔵)	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット

3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

電源タイプ	VLAN	SNMP	Force MDI	SFP スロット	802.1X	QoS	ミラーリング	トランキング	ポート固定設定	EAP 透過	壁面/ラックへの設置
2極 (ACアダプター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット(※4)
3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット(※4)

3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
3極 (電源内蔵)	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
3極 (電源内蔵)	○ ※5	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット、マグネットシート 19インチラックマウントキット(※4)
3極 (電源内蔵)	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット

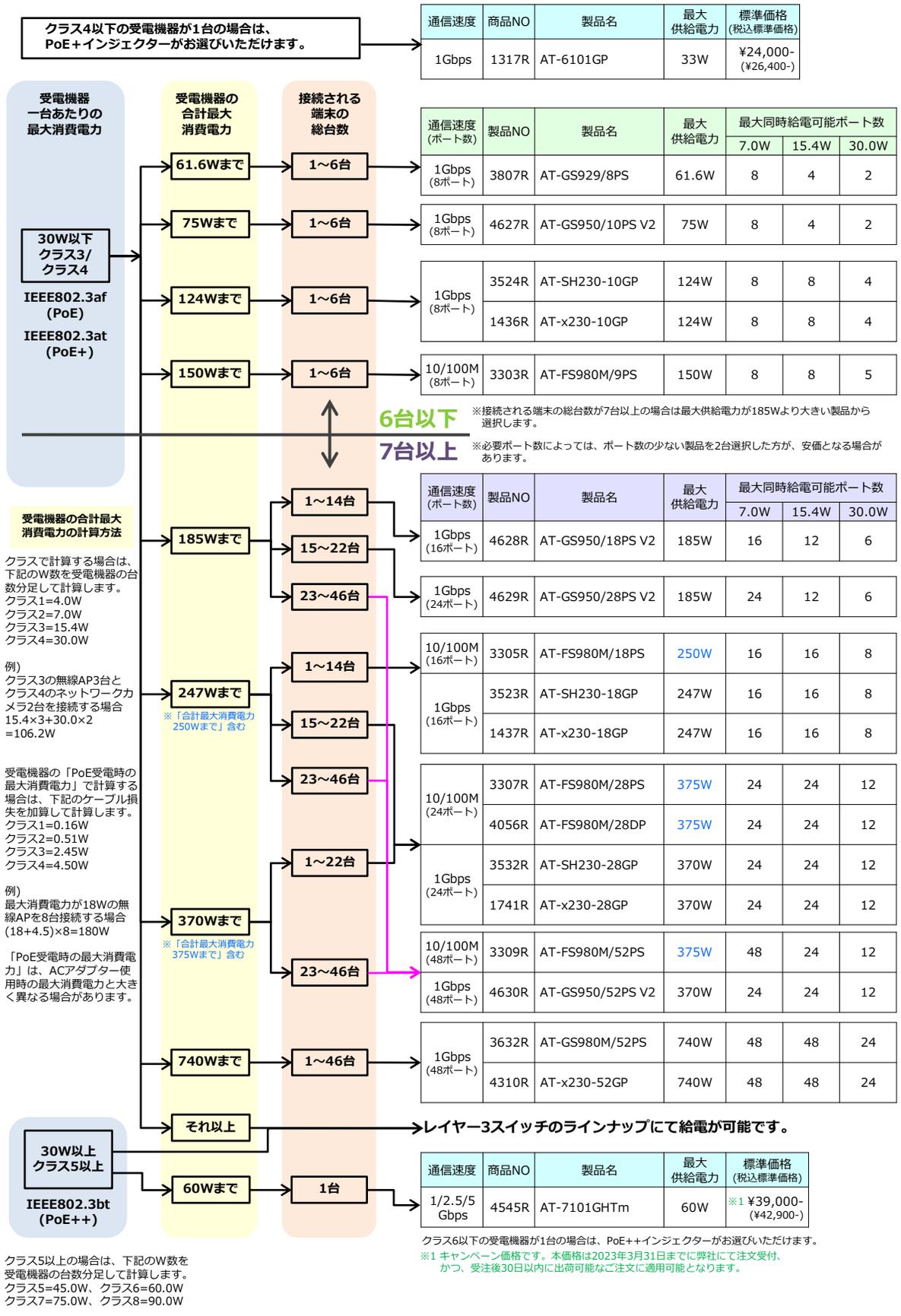
電源タイプ	VLAN	SNMP	Force MDI	SFP スロット	802.1X	QoS	ミラーリング	トランキング	ポート固定設定	EAP 透過	壁面/ラックへの設置
3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット(※4)

3極 (電源内蔵)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット
3極 (電源内蔵)	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット(※4)
3極 (電源内蔵)	○ ※5	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット、19インチラックマウントキット(※4)
3極 (電源内蔵)	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	壁設置ブラケット、マグネットキット マグネットシート、19インチラックマウントキット

電源タイプ	VLAN	SNMP	Force MDI	SFP スロット	802.1X	QoS	ミラーリング	トランキング	ポート固定設定	EAP 透過	壁面/ラックへの設置
3極 (電源内蔵)	○ ※5	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット、19インチラックマウントキット(※4)

※4. 標準添付、または、標準装備しています。
 ※5. ポートベースVLAN、タグVLAN、マルチプルVLANに対応しています。

3. PoE対応スイッチ選定フロー



標準価格 (税込標準価格)	スイッチング ファブリック	冷却 ファン	ループ ガード	電源 タイプ	VLAN	SNMP	Force MDI	SFP スロット	802.1X	QoS	ミラー リング	トラン キング	ポート 固定 設定	EAP 透過	壁面/ラックへの設置
¥54,700- (¥60,170-)	16Gbps	なし	○	3極 (電源内蔵)	○ ※3	-	○	-	-	-	-	-	○	○	壁設置ブラケット マグネットキット、マグネットシート 19インチラックマウントキット
¥67,100- (¥73,810-)	20Gbps	なし	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット、マグネットシート 19インチラックマウントキット(※2)
¥99,000- (¥108,900-)	40Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット マグネットキット、マグネットシート 19インチラックマウントキット
¥128,800- (¥141,680-)	40Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット マグネットキット、マグネットシート 19インチラックマウントキット
¥89,800- (¥98,780-)	3.6Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット マグネットキット、マグネットシート 19インチラックマウントキット(※2)

標準価格 (税込標準価格)	スイッチング ファブリック	冷却 ファン	ループ ガード	電源 タイプ	VLAN	SNMP	Force MDI	SFP スロット	802.1X	QoS	ミラー リング	トラン キング	ポート 固定 設定	EAP 透過	壁面/ラックへの設置
¥108,900- (¥119,790-)	36Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥145,200- (¥159,720-)	56Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥129,800- (¥142,780-)	7.2Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット、マグネットキット 19インチラックマウントキット(※2)
¥155,200- (¥170,720-)	40Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット マグネットキット、マグネットシート 19インチラックマウントキット
¥192,500- (¥211,750-)	40Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット マグネットキット、マグネットシート 19インチラックマウントキット
¥157,800- (¥173,580-)	12.8Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥244,800- (¥269,280-)	12.8Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥194,000- (¥213,400-)	56Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥231,000- (¥254,100-)	56Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥279,800- (¥307,780-)	17.6Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥275,000- (¥302,500-)	104Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	-	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥319,000- (¥350,900-)	336Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)
¥374,000- (¥411,400-)	336Gbps	有り	○	3極 (電源内蔵)	○ ※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	壁設置ブラケット 19インチラックマウントキット(※2)

※2. 標準添付、または、標準装備しております。

※3. マルチプルVLANのみ対応しています。

※4. ポートベースVLAN、タグVLAN、マルチプルVLANに対応しています。

10G対応アンマネージドスイッチをリリース！ ファンレス設計とループガードでエッジに最適！

AT-XS910/8 GS910/XST Series



AT-XS910/8



AT-GS910/10XST



AT-GS910/18XST



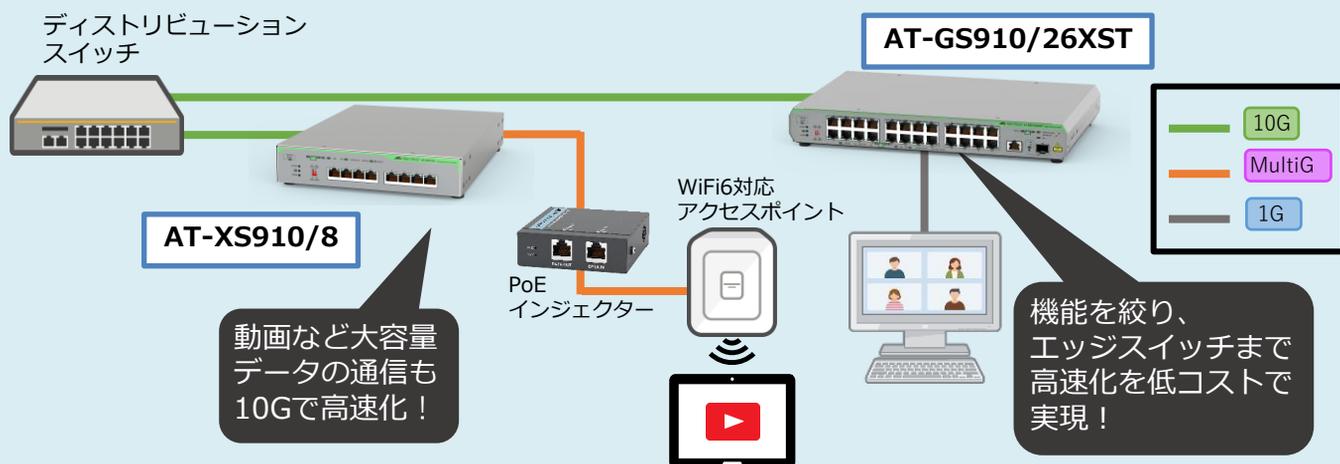
AT-GS910/26XST



全ポート、またはアップリンクに10Gポート搭載

商品コード	製品名	10/100/1000T	100/1G/2.5G /5G/10GT	SFP/SFP+ スロット
4530R	AT-XS910/8	-	8	-
4562R	AT-GS910/10XST	8	1	1
4563R	AT-GS910/18XST	16	1	1
4565R	AT-GS910/26XST	24	1	1

ご利用例：コストを抑えつつ大容量通信も高速化したい！



ネットワーク構築などのご質問やご相談、その他のお問合せ

<https://www.allied-tesis.co.jp/contact>

アライドテレシス株式会社 セールスパートナー推進部

CentreCOM、LoopGuardは、アライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。

●記載されている内容の無断転用を禁じます。